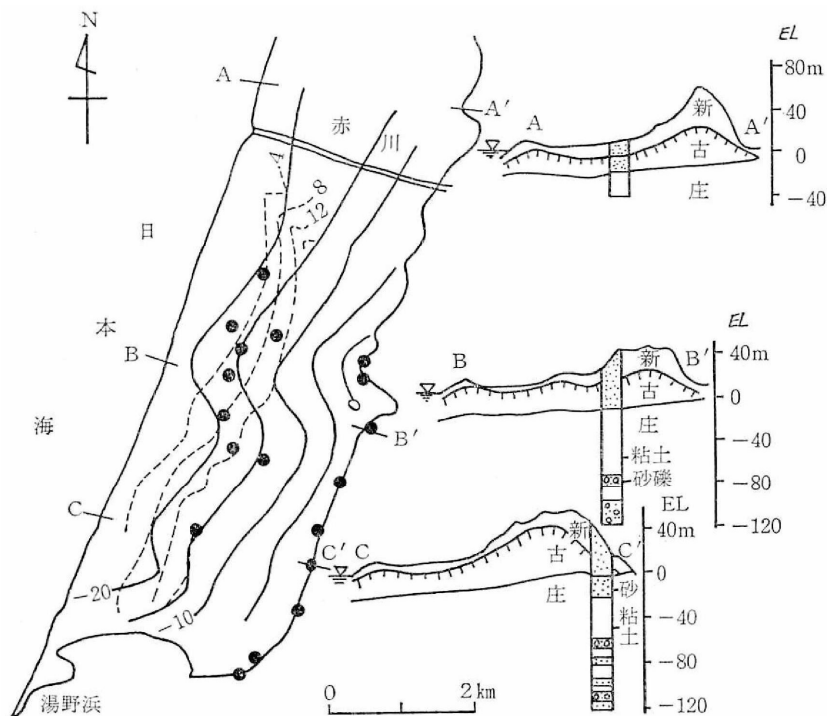


### 地形・地質

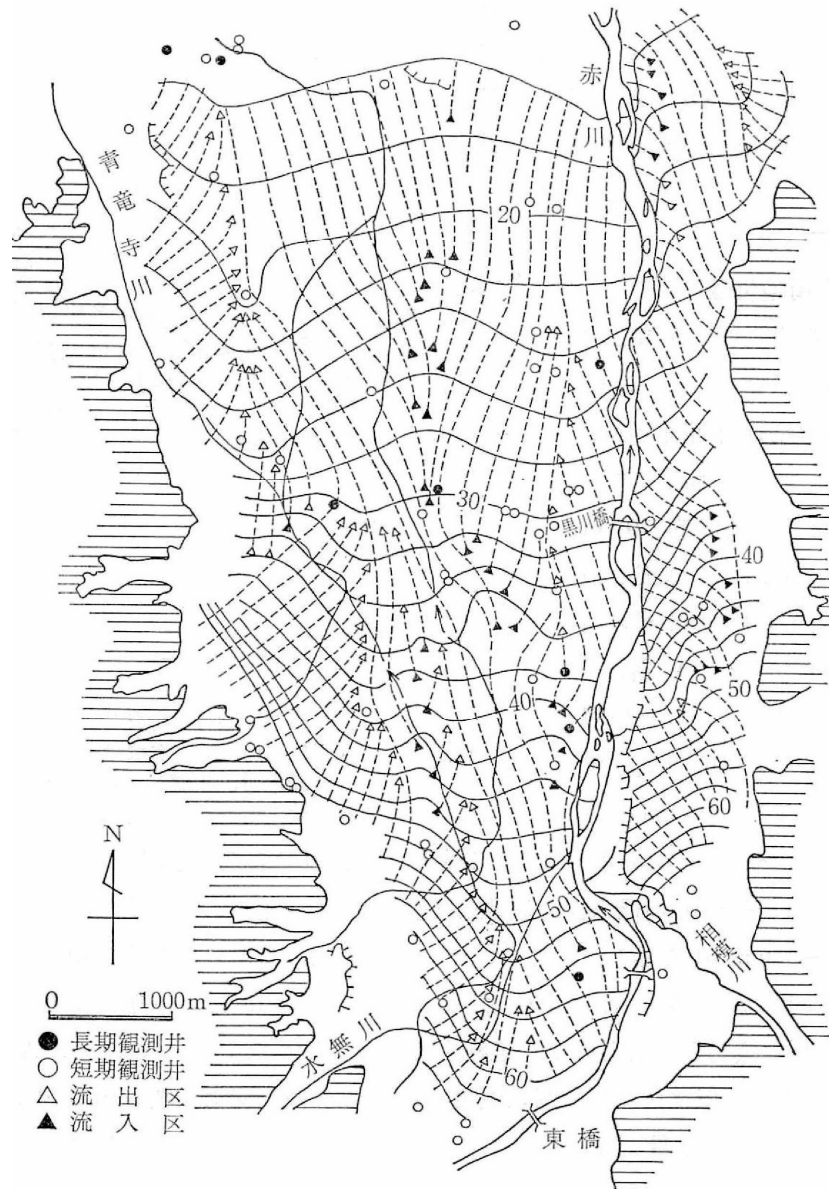
庄内平野南部には、北流する赤川の東西に低地が発達し、粘土・砂・礫などからなる庄内層群が厚く堆積しています。赤川中・上流部には、段丘が発達しています。海岸沿いには幅約3kmの庄内砂丘が発達し、新・古2つの砂丘に区分されています。



庄内砂丘南部の地質構造と地下水位等高線

## 地下水

鶴岡市街地付近では、低地下約 200m に分布する 3 枚の帯水層から採水する井戸が多いです。赤川扇状地では、透水性が良い扇状地砂礫層中に不圧地下水があります。庄内砂丘南部では、新古砂丘砂の不圧地下水と、庄内層群の砂礫層中の被圧地下水があります。



赤川中流域の流線網図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）